第２章

公民館事業･取り組みのあゆみ



開館時から継続している「幼児家庭教育学級 たんぽぽ学級」のひと場面

家庭教育に関する学びを深めながら、保護者同士のつながり、共に語り合う関係を育む。

開館10周年記念誌が発行された2015(平成27)年度の翌年である2016(平成28)年度から、2025(令和７)年度までの10年間を中心に、公民館の主催事業やその他の取り組みについての経緯、変遷を紹介します。

第１節　公民館事業・取り組みの変遷（表）

・文字：名称　　・→：継続実施　　・「」：愛称やその年のテーマ

・〔〕：期間・回数等　・()：中止などの情報　・■実施無し

第２節　公民館事業・取り組みの概要

公民館事業・取り組みの変遷(2016～2018 年度)

	2016（平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
公民館運営審議会	→	→	→
青少年・青少年教育に関する取組			
キャンプ	子どもキャンプ〔1泊2日〕	→＊代替:バスハイク	→〔1泊2日〕
移動学習	バスハイク	→	→
創作･体験	子ども教室〔7回〕	→〔7回〕	→〔8回〕
	クッキング〔3回〕	→〔3回〕	→〔2回〕
親子	親子体験教室〔8回〕	→〔9回〕	→〔5回〕
成人	周西地区成人を祝う集い	→	→
青年	青年教室「ライフプラン」	→「ピラティス」	→「防犯・護身術」
青少年相談員	活動支援	→	→
健全育成			
その他	地域と子どもの2分の1成人式	→	→
家庭教育・家庭教育支援に関する取組			
幼児家庭教育学級	「たんぽぽ学級」〔11回〕	→〔8回〕	→〔9回〕
家庭教育学級	坂田「わかば学級」〔11回〕	→〔9回〕	坂田・大和田「わかスマ学級」〔9回〕
	大和田「スマイル学級」〔10回〕	→〔10回〕	
思春期家庭教育学級	「おしゃべりカフェ」〔12回〕	→〔10回〕	→〔7回〕
サロン			
講演会		家庭教育講演会	
成人の学びに関する取組			
高齢者学級	「さざなみ学級」〔10回〕	→〔10回〕	→〔9回〕
	「なでしこ学級」〔10回〕	→〔9回〕	「ゆとり学級」〔9回〕
高齢者交流			
女性			
人権		人権講演会・啓発関連	→
趣味教養	趣味教養講座〔7回〕	→〔2回〕	→〔2回〕
地域の課題、地域の歴史文化、地域づくりに関する取組			
地域課題	認知症サポーター養成講座〔1回〕	→〔1回〕	→〔1回〕
	認知症カフェ〔1回〕	→〔2回〕	→〔1回〕(中止)
	子どもの幸せと地域の役割	→	
	地域課題学習講座「放課後プロデュース講座」	→「はまっぺウォーク」	→「きみつ新発見！周西まるかじり」
歴史･文化			
多文化共生			
地域づくり			
サークル・団体の支援などに関する取組			
	サークル研修〔2期5回〕	→〔2期4回〕	→〔2期4回〕
	大人と子どもの交流広場	→	→
	活動支援	→	→
地域文化の振興・交流促進に関する取組			
	周西公民館だより	→	→
	周西公民館地区文化祭	→	→
その他			
公民館連携	共に学ぶ市民の集い	→＊周西会場開催	→
図書			周西文庫
記念事業			

公民館事業・取り組みの変遷(2019～2025 年度)

	2019(平成31/令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度
公民館運営審議会	→	→	→
青少年・青少年教育に関する取組			
キャンプ	子どもキャンプ〔1泊2日〕	(中止:コロナ)	(中止:コロナ)
移動学習	バスハイク(中止:コロナ)	→(中止:コロナ)	→(中止:コロナ)
創作・体験	子ども教室〔13回〕	→〔6回〕(一部中止:コロナ)	→〔13回〕(一部中止:コロナ)
	クッキング〔2回〕		
親子	親子体験教室〔5回〕	→〔5回〕(一部中止:コロナ)	→〔2回〕(一部中止:コロナ)
成人	周西公民館成人を祝う集い	→(当日中止:コロナ)	→
青年	青年事業「ドローン操作体験」		
青少年相談員	活動支援	→	→
健全育成	協議会運営支援(事務局員)	→	→
	講演会「異言語脱出ゲーム」		
その他	すさいジュニア地域お助け団		
	趣味教養「子どもチアダンス」〔15回〕		
家庭教育・家庭教育支援に関する取組			
幼児家庭教育学級	「たんぽぽ学級」〔11回〕(一部中止:台風)	→〔5回〕(一部中止:コロナ)	→〔8回〕(一部中止:コロナ)
家庭教育学級	坂田・大和田「わかスマ学級」〔11回〕(一部中止:コロナ)	家庭教育学級＊君津中央公民館と合同(中止:コロナ)	君津中央公民館・周西公民館家庭教育学級〔7回〕
思春期家庭教育学級	〔6回〕(一部中止:コロナ)	→〔5回〕	→「すくすくスプリング」〔6回〕
サロン			
講演会	家庭教育講演会	→	→
成人の学びに関する取組			
高齢者学級	「さざなみ学級」〔10回〕		
	「ゆとり学級」〔8回〕		
		「おとなの放課後倶楽部」〔5回〕(一部中止:コロナ)	→〔5回〕(一部中止:コロナ)
高齢者交流		「お達者倶楽部ゆいまーる」〔2回〕	→〔4回〕
女性		女性学級「DearWOMAN」〔3回〕	→〔3回〕(一部中止:コロナ)
人権	人権講演会・啓発関連	→	→〔3回〕(一部中止:大雨)
趣味教養	趣味教養講座〔2回〕	(中止:コロナ)	→〔3回〕(一部中止:大雨)
地域の課題、地域の歴史文化、地域づくりに関する取組			
地域課題			
	地域課題解決支援事業「お困りごと調査」「私たちの防災・災害」	→「高齢世帯の防災・災害」	
歴史・文化	地域学習講座 周西まるかじり	→「すさい・まちの変化100の記憶」	→「すさい・まちの変化100の記憶」
多文化共生			学習支援「多文化共生のまちづくり」〔4回
地域づくり			
サークル・団体の支援などに関する取組			
	サークル研修〔2期4回〕	→〔2期4回〕(一部中止:コロナ)	→〔2期3回〕
	大人と子どもの交流広場		
	活動支援	→	→
地域文化の振興・交流促進に関する取組			
	周西公民館だより	→	→
	周西公民館地区文化祭	→代替「周西万博週間」	→
			ＳＡＫＵＲＡ★ウォーク
その他			
公民館連携	君津市公民館交流集会	→	→
図書	周西文庫	→	→
記念事業			

2022(令和4)年度	2023（令和5)年度	2024(令和6)年度	2025(令和7)年度
→	→	→	→
青少年・青少年教育に関する取組			
→(代替:日帰りプログラム)	(中止:インフルエンザ)	→〔1泊2日〕	→〔デイキャンプ〕
→	→〔2回〕キャンプ中止代替	→	→
→〔10回〕	→〔11回〕	→〔6回〕	→〔5回〕
→〔6回〕(一部中止)	→〔5回〕	→〔4回〕	→〔2回〕
→周西公民館２０歳のつどい	→	→	→
→「友活」〔3回〕	→「みんなのともかつ」〔6回〕	→〔5回〕(一部中止:天候)	→〔5回〕(一部中止)
→	→	→	→
→	→	→	→
→「子どもの不調~コロナ禍の波紋~」	→「スマホ・ゲームのルール決め」	→「子どものやる気の引き出し方」	→「これからの子ども×生成ＡＩ」
家庭教育・家庭教育支援に関する取組			
→〔8回〕	→〔10回〕	→〔10回〕	→〔10回〕
→〔6回〕	家庭教育学級「すくすく学級」〔9回〕		
		「話そう!色とりどりの子どもたち」〔5回〕	「思春期・不登校カフェこもれび」〔5回〕
→	→	→	
成人の学びに関する取組			
→〔8回〕	→〔8回〕	→〔8回〕	→〔8回〕
→〔7回〕	→〔6回〕	→〔3回〕	→〔3回〕
→	→〔2回〕	→〔3回〕	→〔3回〕
地域の課題、地域の歴史文化、地域づくりに関する取組			
	→「防災講座」		→「自治会長情報交換会」 →「ひだまりひろば」
→「100の記憶スピンオフ」			
→「日本語ひろば」〔7回〕(一部中止:大雨)	→「日本語ひろば」〔6回〕(一部中止)	→「日本語ひろば」〔1回〕(中止)	
			地域づくり協議会支援事業
サークル・団体の支援などに関する取組			
→〔2期4回〕	→〔1期2回〕	→〔1期2回〕	→〔2期5回〕
→	→	→	→
地域文化の振興・交流促進に関する取組			
→	→	→	→
→	→	→	→
→(中止:雨天)	→		
その他			
			公民館×生成ＡＩ
→	→	→	→
			20周年記念準備事業

公民館事業・取り組みの概要（2016～2025年度）

1　公民館運営審議会

公民館運営審議会(以下 公運審)は、公民館長の諮問機関である。地区住民、利用者、地域団体・機関など様々な立場の委員を教育長が委嘱し、公民館について審議する。

君津市では、ブロック配置制としており、周西公民館は、君津中央公民館、八重原公民館、周南公民館と共に、君津地区公運審を構成している。君津地区定員12名（うち周西地区委員は３名）、任期２年。年間４回の審議会を原則としている。

住民が主体となり民主的に公民館が運営され、公民館での学びの自由と独立性を確保する為の要の存在として、公民館運営審議会制度が存在する。ここで審議されたことは、公民館運営や各種の取り組みに反映される。

次の表は、2016(平成28)年度以降の主な審議・協議の内容(一部)である。

年度	審議・協議事項
2016 (平成28)	・施設提供と整備
2017 (平成29)	・地域と学校との新たな係わり合いの中での公民館事業
2018 (平成30)	・福祉的な視点を持った公民館事業の展開
2019 (令和元)	・「大切にする機能、今後の取り組み」に向けて ・家庭教育学級、高齢者学級の見直し ・「課題解決支援」の視点を持った事業への取り組み
2020 (令和2)	・上記３点(継続) ・休館期間中の公民館の対応・活動
2021 (令和3)	・ＩＣＴを活用したより良い公民館運営 ・施設の運営状況と利用者への対応 ・予約システムの導入
2022 (令和4)	・ＩＣＴを活用したより良い公民館運営(継続) ・地域の諸活動活性化のための支援
2023 (令和5)	・君津地区における地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について(各地区の現状と課題)
2024 (令和6)	・上記テーマにおける答申作成
2025 (令和7)	・令和6年度答申を踏まえた各館の事業 ・開館時間等、休館日 ・公民館使用料
※これらに加えて、年間事業計画、進捗状況、結果報告などは、毎年度審議している。	

各期における審議会では、時宜に応じたテーマが協議されてきた。例えば、2016年度の「施設提供と整備」は、当時議論が進んでいた「君津市社会教育施設等のあり方検討会」の進捗にあわせたテーマであった。同様に君津市学校再編基本計画(2016年３月25日策定)を受けての「地域との新たな係わり合いの中での公民館事業」(2017年度)、「君津市社会教育施設等の整備・運営方法等についての指針」(2017年２月)を受けての、「大切にする機能、今後の取り組みに向けて」(2019年度)などである。

コロナ禍では、審議会の運営において、書面開催、委員が４館それぞれに参集し、館間をオンラインでつないでの実施などの対応が取られた。また、コロナ禍での模索の中で、「ＩＣＴを活用したより良い公民館運営」(2021年度)なども議論された。

2023～2024年度は「君津地区における地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について」がテーマとなった。これは君津市において更なる地域コミュニティの活性化と多様な住民自治(地域自治)の実現を目指す仕組みとして2024年４月からスタートした「きみつ地域づくり協議会」への動きを受けてのものであった。2024年５月には４館の館長が同テーマについて諮問し、ワーキンググループの設置など積極的な議論が重ねられ、2025年３月に答

申が出された。

同答申の中では、周西地区の地域の課題として「地域参画・担い手に関すること」「つながり・コミュニケーション」など、周西公民館の課題として、利用者の高齢化と固定化、公民館への関心の低さ、地域諸団体との結びつきの弱さなどが指摘されている。

また、「地域課題解決と地域活性に資するこれからの公民館についての提案」や「地域づくり協議会が始動する中で特に求められること」が提起された。これらは、2025年度以降の主催事業・館運営に反映され、審議会へも経過報告されている。

2025年度は厳しい財政状況による全市的な公共施設運営見直しの流れを受け、開館時間の短縮や休館日の設置が議論され、また公民館使用料についての検討が始められた。

2　青少年・青少年教育に関する取組

○すさい子どもキャンプ・バスハイク

この２つの事業は、いずれも周西地区青少年相談員連絡協議会と周西公民館との共同開催事業である。

開館当初からの「子ども生活体験教室」の流れを受けながら、2014(平成26)年度より実施となった。

概ね小学４～６年生を対象に、夏のキャンプ、２月のバスハイクが実施されてきた。近年の夏季酷暑の影響を受け、2026(令和８)年度は、８月にバスハイクを実施し、３月にキャンプが予定されている。

野外での共同体験や異学年での交流を通してたくましさや生きる力を育むことを目指して、毎回様々なプログラムが企画されている。また、「地域の大人」としての青少年相談員と子どもたちとの交流の機会にもなっている。

年度	子どもキャンプ実施状況
2016	1泊2日　木更津市立少年自然の家
2017	代替　バスハイク
2018	1泊2日　内浦山県民の森
2019	1泊2日　清和県民の森 *雨対応で宿泊は公民館
2020	(コロナ-中止)
2021	(コロナ-中止)
2022	代替：ペットボトルロケット
2023	デイキャンプ(インフル-中止)
2024	1泊2日　周西公民館
2025	デイキャンプ　清和県民の森　他





キャンプでの野外炊飯(上2016年、下2025年)

○すさい子ども教室

前身事業である「サタデー・キッズ」(2009年度)の流れを汲む「すさい子ども教室」は、2016～2018年度は、長期休みに合わせたホール開放や映画鑑賞が中心であった。

2019年度に2017年度公運審での協議を受けて事業を見直し、「創作活動」と「集団遊び」をメインに構成し、特別な体験ではなく、“自分たちでできる遊び”を広げることを目指したプログラム構成とした。

また、夏休みの宿題や冬休みの「かきぞめ」を君津高校生徒の協力により実施する取り組みも始まり、2026年度も継続している。翌2020年度からは住民ボランティアがかかわ

る運営を行い、この体制は2023年度まで継続された。



たこづくり（2022年1月）

2025年度には、公民館利用サークル「木更津友の会」と共催し、海外から講師を招いての「デンマーク体操体験会」も実施された。

○親子体験教室

2009（平成21）年から実施している親子体験教室は、子育て家庭の学びの機会、家族同士の交流の機会として、学習・創作・調理・体験などの様々なプログラムを実施してきた。

この10年間の特徴的な内容としては、近隣工場見学（2018年度）、地域史学習（2019年度他）、公民館芝生エリアでのポニーとのふれあい（2020年度）、父親の家事・育児参加を目的としたプログラム構成（2022年度他）、「ウクライナってどんな国」（2023年度）などが挙げられる。



ウクライナってどんな国（2023年12月）

2016（平成28）年度は、小学１～３年生家族を対象としていたが、2018（平成30）年度からは年長～小学２年生家族、2022（令和4）年度からは、小学生全学年家族と対象を変化させて実施してきた。多少の増減はあるものの、一定数の参加者があった事業であったが、コロナ禍を経た時期から参加者数が減少傾向となり、公民館運営全体の事情も相まって近年は実施回数が限定的になっている。

○20歳のつどい（旧 成人を祝う集い）

20歳の青年の門出を祝い励ます地域行事として、また同時に青年自身が大人になったことを自覚できる機会、地域住民との交流を図る機会を創出する社会教育事業として、君津市・君津市教育委員会が主催し、実施機関である各公民館が実行委員会等を組織して実行している。

周西公民館区域には、企業独身寮などに地区出身ではない対象者が多数在住しており、実際の「つどい」への参加はほぼないものの、同じ地域の20歳の仲間として、参加を受け入れることのできる体制づくりを継続している。

また、「地域と子どもの２分の１成人式」への協力（2018年度まで）、周西地区地域づくり協議会設立準備会への実行委員経験者の参加（2024年度）、実行委員による文化祭への模擬店出店（2025年度）など、「つどい」当日だけではない、地域との関わりづくりの取り組みが実施されている。

○青年事業

2011（平成23）年度のクッキング企画を皮切りに、青年層を対象にした事業を展開してきた。

2016（平成28）年度からは、それまでの流れを引き継ぎ「青年教室」として、ライフプラン、ピラティス、防犯などをテーマに実施し、ピラティスの取り組みは、その後、公民館利用サークルの発足につながった。

2019（令和元）年度には、認知度が高まってきたドローンの体験会を実施し、多くの参加者を得た。

コロナ禍を経て、2022（令和４）年度からは

「ともかつ」を実施。いわゆる婚活の手前の友達をつくる活動として、「１人ではやらないけどみんなでなら１度はやってみたいこと」をコンセプトに、様々な活動に取り組み、青年層の仲間づくりの場となっている。

また、青年層を対象とした継続的な事業展開は周西公民館の特徴的な事業運営の１つとなっている。

2023(令和５)年度プログラム	
6/24 (土)	Recreationみんなでモルック
8/26 (土)	Relax紅茶×トーク
10/14 (土)	Therapy絵本×涙活
12/2 (土)	Refreshバス×紅葉
2/10 (土)	Meditation写経×瞑想
3/30 (土)	Let's go! みんなでお花見



Let's go! みんなでお花見（2024年3月）

○青少年健全育成

周西中学校区青少年健全育成協議会において、以前は構成員の一部であった周西公民館であったが、2017(平成29)年度の公運審協議もきっかけとして、2019(令和元)年度より、事務局員の一員として活動支援を担うこととなった。

また、同年度より、協議会の講演会の一部を周西公民館が主管し開催している。2019年度の「異言語脱出ゲーム」（手話を用いて謎を解く体験型エンターテイメント）は71名の参加者を集め、後の周西公民館での「手話」に関連する取り組みのきっかけとなった。

2022～2024年度は家庭教育支援に関連する取り組みと兼ねたテーマを、また、2025(令和７)年度には市内公民館連携事業として、



異言語脱出ゲーム（2020年1月）

これからの子どもたちが生きる生成ＡＩ社会への大人の関わりへの理解を深める講演会を実施した。

○その他

2015(平成27)年度の開館10周年を機に始まった「地域と子どもの２分の１成人式」では、「10年後の自分への手紙」や成人を祝う集いへのくす玉プレゼントなどに取り組んだ。この事業は2018(平成30)年度まで４回実施されたが、参加児童の減少や家庭環境の多様性への配慮などを踏まえ、「２分の１成人式」のスタイルを見直した。

2019(令和元)年度には、「10歳からの地域デビュー」を掲げ、公民館をはじめとする地域行事と小学生の「お助け」をマッチングする取り組みを試みた。しかし、同年の台風災害や、その後コロナ禍もあり、継続には至らなかった。

一方、同年度には子ども向けの「趣味教養講座」として「子どものチアダンス教室」を実施し、終了後にサークルが発足した。その後も敬老会や20歳のつどいなど様々な場所でパフォーマンスを披露し、地域を元気づける存在になっている。

３　家庭教育・家庭教育支援に関する取組

○幼児家庭教育学級「たんぽぽ学級」

乳幼児期の子どもの保護者を対象にした通年の学級「たんぽぽ学級」は開館当初から継続している事業である。

近年は“子育てほっとステーション”を掲げ、家庭教育に関する学習機会の提供、保護

者同士の交流を目的に実施している。学級は「班」体制により運営され、また保育協力者による公民館保育が実施されて、学級生・保育協力者・職員の三者が一体となって運営を継続してきた。

コロナ禍の2020(令和２)年度は保育が実施できないなどの厳しい状況もあった。またそれ以前から参加者数の伸び悩みなどもあったが、コロナ禍以降は安定した参加者数があり、地域住民にとってニーズの高い事業だと推察される。

プログラム内容は、子どもの発達・成長や育児、家事や家庭生活（家事・食事等）、自分自身のケアや内面を見つめる活動、子どもを巡る社会の動きへの理解、創作活動や趣味教養、スポーツ、交流、バス移動学習など多岐に渡る。

自主活動の実施や、その後のグループ活動につながった例もあり、子育てを通じた貴重な仲間づくりの場となっている。

2025(令和７)年度プログラム	
6/12 (木)	開級式　オリエンテーション
7/7 (月)	レク＆トーク交流会
8/7 (木)	バスハイク（自主活動）
9/4 (木)	子どもに怒りすぎてしまうあなたへ～イライラの逃し方～
10/8 (水)	はじめてのマクラメ
11/14 (木)	子育ち講座①
12/3 (火)	子育ち講座②
1/21 (水)	栄養満点朝ごはん
2/17 (火)	ご自愛ヨガとジャーナリング
3/10 (火)	閉級式

○家庭教育学級

小学生の子どもをもつ保護者を対象にした家庭教育学級は、子育てについての情報交換や学級生同士の仲間作り、様々な学習・活動を通して、子どもの変化に向き合い、子どもの発達や取り巻く環境にも目を向けながら、より豊かな親子関係や家庭生活を築けるよう学びあうことを目指し、君津中央公民館・周西分館の流れを汲みながら開館当初から実施されてきた。

開館時は１つの学級であったが、2009(平成21)年度に、坂田小学校保護者対象の「わかば学級」と大和田小学校保護者対象の「スマイル学級」に分離した。それぞれで準備会が実施され学級生が当事者として学級に携わる運営が継続されて、それぞれの小学校と密接に関連したプログラムや自主活動など特色ある取り組みがなされてきた。

しかし、両学級での参加者数の減少などを受け、学級生による協議が行われ、2018(平成30)年度から統合し「わかスマ学級」として実施することになった。



わかスマ学級　開設（2018年6月）

さらに公運審での「家庭教育学級の見直し」の協議を経て、2020(令和２)年度からは、君津中央公民館区域と周西公民館区域を１つのエリアとして、「小学生の子を持つ保護者を対象とした家庭教育学級」を君津中央公民館が、周西では「思春期の子を持つ保護者を対象とした家庭教育学級」を担当することになった。しかし、見直した家庭教育学級を実施する矢先にコロナ禍にみまわれ、2020年度の合同実施はかなわなかった。2021(令和３)年度に、オンライン等の手法を用いながら実施したものの、新たなスタイルでの家庭教育学級は定着せず、2022(令和４)年度以降の合同開催は断念する形となった。

一年間の休止を経て、2023(令和５)年度は再び周西公民館単独で、対象エリアに君津中央公民館地区を含ませつつ、思春期の子を持つ保護者まで対象を広げた「すくすく学級」を開催した。

○思春期家庭教育学級

2012(平成24)年度、２つの家庭教育学級の発展版として、思春期の子を持つ保護者の学級がスタートした。愛称を「おしゃべりカフェ」とし、①思春期の子育ての課題と必要な知識や考え方の学習 ②子どもを支援し、自らも親としての生き方・子育てのあり方を客観的に捉える ③保護者同士のつながりを作り、共に学び合い語り合う関係を深めることを目標に、思春期特有の心身の発達への理解、受験・進学(高校見学など含む)、学級生自身の自己実現や暮らしの充実などをテーマに事業を展開してきた。

なお、前述の「家庭教育学級の見直し」により2019(令和元)年度より君津中央公民館地区も含めた思春期家庭教育学級を周西公民館が担当することになり、性教育、児童虐待、家事、趣味教養的な内容などもテーマに加え実施してきたが、コロナ禍と重なったこともあり、参加者は年々減少していった。君津中央公民館地区からの参加者も極僅かにとどまり、2023年度からは前述の家庭教育学級「すくすく学級」に統合することとなった。

○その他の家庭教育支援に関する取組

幼児家庭教育学級、家庭教育学級、思春期家庭教育学級の学級合同による「記録集のはら」作成は2018(平成30)年度まで取り組みが行われた。この「のはら」の名称は開館当時実施していた学級「わかば」と「たんぽぽ」が大地に根を張り、共に力強く育っていこうという思いから名付けられたものであった。その後、学級単独での発行、君津中央公民館との合同発行と形を変えながら記録集の取り組みは2021(令和３)年度まで続いた。

2024(令和６)年度からは、前述の「すくすく学級」を改変し、通年での「学級」のスタイルにとらわれず、各回申込み・サロン的なスタイルの事業「家庭教育サロン-話そう！色とりどりの子どもたち-」を実施した。翌2025(令和７)年度には、不登校児が年々増加していることをふまえ、小・中・高校生を子に持つ保護者を対象に、悩みごとを共有し、気軽に語り合うことのできる場として「思春期・不登校カフェこもれび」を実施した。

また、通年学級内の１回を「公開講座」とする形式や、健全育成、人権講演会などと兼ねる方式などをとりながら、家庭教育に関連する公開講演会を実施してきた。

このほか、複数の公民館が合同開催する形式で、公民館保育の保育協力者研修が継続的に実施されている。

年度	公開講演会テーマ
2017	揺れ動くこどもの心
2019	デートＤＶの実態と予防
2020	児童虐待をなくすために
2021	思春期の今だからこその性教育
2022	子どもの不調～コロナ禍の波紋～
2023	スマホ・ゲームのルール決め
2024	子どものやる気の引き出し方

４　成人の学びに関する取組

○高齢者学級・高齢者の学び

高齢期の生きがい創出、健康増進、仲間づくりや地域とのつながりを目的に開設されてきた高齢者学級は、老人クラブ(現 シニアクラブ)と提携した「さざなみ学級」と、一般公募による学級（名称は変遷があるが、2012(平成24)年度から「なでしこ学級」、2018(平成30)年度から「ゆとり学級」）の２つの学級が、2019(令和元)年度まで開設されていた。

「さざなみ学級」は年間10回のプログラムで、健康学習、終活、認知症、調理、交通安全、地域の歴史、レクリエーション、軽スポーツ、体操、移動学習など実施してきた。もう一方の学級「なでしこ学級」「ゆとり学級」では年間９回程度の開催で、健康学習、介護予防、食事、終活、地域誌、体操、創作、調理、災害、自分史、交流会、移動学習などの内容であった。また、２学級合同での人見保育園(当時)との交流会も実施された。

この２学級体制は、シニアクラブへの加入の状況によって参加できる学級が分かれてしまうことや、年齢層の幅広さから生じるニーズの多様化への対応の難しさ、「ゆとり学



保育園との交流（2017.10）

級」の認知度の低さなどが長年の課題となっており、2019(令和元)年度、公運審での学級見直し協議や、両学級生などの協議を重ね、2020(令和２)年度からは、高齢者学級が次のように再編された。

１つは、高齢者の生きがいや仲間づくりを支援し、“アクティブシニアのための連続学習講座”として構成する「おとなの放課後倶楽部」である。「60歳は人生３度目の二十歳」「人生の放課後をアクティブに過ごしましょう」と呼びかけ、年間８回程度実施している。

2020(令和２)年度「おとなの放課後倶楽部」	
10/16（金）	開級式＆レクリエーション
11/20（金）	ロコモティブシンドロームのおはなしと体力測定
12/11（金）	映画鑑賞「SUSAI★シアター」
1/22 （金）	歩いてふれよう地域の歴史
2/26 （金）	癒しのランプづくり＆閉級式
コロナ禍による制限で一部中止	

もう１つは、シルバー世代のための“ちょっと得するゆるやかな交流”と呼びかけて開催している「お達者倶楽部ゆいまーる」である。こちらは学級形式をあえてとらず、各回申込の運営としている。近年はスマホ講座が中心となっている。

2022(令和４)年度「お達者倶楽部ゆいまーる」	
7/20（水）	すさいうたごえ広場①
8/31（水）	すさいうたごえ広場②
2/7（火）	スマホ操作　基本編
2/14（火）	相続と争族「相続のキホン」
2/20（月）	相続と争族「マイライフ＆エンディング」
2/21（火）	スマホ操作　応用編その１
2/28（水）	スマホ操作　応用編その２



スマホ操作基本編（2023.2）

○女性対象事業

過去には趣味教養講座で女性を対象とした事業を実施したこともあったが、2016(平成28)年度以降では、2020(令和２)年度・2021(令和３)年度の２年間、「Dear WOMAN」と愛称をつけた女性学級を実施した。これは、思春期家庭教育学級での、自分自身のための学びを独立させた学級であった。連続でも単独でも参加可能とし、２年間で、パーソナルカラー、セルフケア、ネイル＆ハンド＆フットケア、ストレッチ、乳がん等のプログラムに取り組んだ。

○人権関連事業

人権意識の向上や理解を深めるための学習機会として、講演会・体験や複数回の講座を開催している。家庭教育や青少年健全育成などの事業と関連して実施していることも多い。

年度	内容
2017	講演会「性別で見る多様性と人権」
2018	同上
2019	講演会「デートＤＶの実態と予防」 ＊思春期家庭教育学級公開講演会 講演・体験「異言語脱出ゲーム」 ＊青少年健全育成講演会
2020	講演会「児童虐待をなくすために」 ＊思春期家庭教育学級公開講演会
2021	手話講座（聴覚障害への理解促進） ＊趣味教養講座（３回）

2022	「やさしい日本語講座」
2023	「なぜ戦争がおこるの」（２回）
2024	「不登校サポート！」（３回）
2025	「子どもの個性・特性・障害」 他〔３回〕 ＊「思春期不登校カフェ こもれび」公開講座
2026	講演会「ろう者の歴史から学ぶ、誰もが自分らしく生きる権利」

○趣味教養講座

開館当初から地域文化の創造や新たな地域交流・公民館利用サークルの設立などを目的として開催されてきた趣味教養講座は、2021年(令和３)年まで継続された。

年度	内容
2016	初めてのかんたんパソコン
2017	脳が喜ぶ！心が笑う！わくわくクリニカルアート!!
2018	珈琲を楽しむ講座
2019	珈琲を楽しむ講座
2021	はじめての手話

5　地域の課題、地域の歴史・文化、地域づくりに関する取組

○地域課題への取組

周西分館時代から実施していた地域の歴史・自然・文化について学ぶ「地域再発見教室」を2014(平成26)年に「地域課題学習講座」に組み換え、地域の課題として認知症を取り上げた。2016(平成28)～2018(平成30)年度には、そこから生まれた「すさい認知症サポーターの会」の支援として「認知症サポーター養成講座」と共同実施での「認知症カフェ(ほっこりタイム)」に取り組んだ。

なお、2016・2017年度には「地域課題学習講座」とは別の枠組みとして「子どもの幸せと地域の役割を考える講座」を西地区社会福祉協議会との共催で実施し、社会的養護や、子どもの成長と祖父母の関わりについての学びを深めた。

2016年度の「地域課題学習講座」は「放課後プロデュース講座」と題して放課後子ども達を地域で見守り育てていく学習の試みを行った。

その後、2017・2018年度はこの「地域課題学習講座」の枠組みの中で、地域の歴史文化についての取り組み（後述）が行われることになったことから、2019(令和元)年度から、改めて、「地域課題解決支援事業」と「地域学習講座」を設置し、位置づけを整理した。

2019年度の「地域課題解決支援事業」は、「地域課題(お困りごと)調査隊」と称して調査員を募集し、調査・アンケートを実施。令和元年房総半島台風とそれに続く大雨災害もあり、アンケートに多数の声が寄せられた「災害と高齢者」「地域で取り組む防災」をテーマに学習会を企画した。この取り組みはコロナ禍を経ながら、2023(令和５)年度まで継続された。



防災講座（2024.9）

2025(令和７)年度からは、アプローチを変え、地域の課題を共有していくための「自治会長・公民館情報交換会」を開催している。

また2025年３月の公運審答申を受け、同時に地域づくり協議会の動きも関連し、周西地区の課題として挙げられた「つながり・コミュニケーション」に資する事業として「周西ひだまりひろばプロジェクト」の取り組みが開始された。2025(令和７)年度内は有志住民とプロジェクトチームを発足させ企画づくりの協議を実施。“日常の小さな出会いを彩る”をキャッチコピーに、ギャラリー及び芝生広場での催し・創作・体験・出店・出展などを募集し、カレンダー形式で情報発信する取り組みを2026(令和８)年５月から開始している。

○地域の歴史・文化への取組

前述の通り「地域課題学習講座」の枠組みの中で、2017(平成29)年度には、市内８公民館連携事業の一環として「はまっぺウォーク」と題し、ノリ漁業についての体験・講義と地域散策を実施した。翌2018(平成30)年度も同様の位置づけで「周西まるかじり！-鉄砲巻きと堅パンと～きみつの海の今昔～」と題し、漁業資料館での体験・見学、神門自治会館での調理、新日鐵住金株式会社（当時）の見学を行った。

2019(令和元)年度は、周西地区の歴史・自然・文化などを題材に、地域の特性と魅力への理解を深めるような学習に取り組むことを目的に「地域学習講座 周西まるかじり」を新設し、「妙見信仰」をテーマに座学、青蓮寺や人見神社見学、鉄砲巻きづくりを実施した。

2020(令和２)～2022(令和４)年度は、1960年代からの急激なまちの変貌を、当時を知る住民・関係者の想いや記憶から記録化し、地域資料としていく「すさい・まちの変化100の記憶」に取り組んだ。（詳細は第３章）

○多文化共生

「学び直し」への注目度の高まりから、2020(令和２)年度より君津市の公民館全体でこの観点での取組を進めることになった。その中、周西公民館地域の状況を調査すると、日本語を母語としない外国出身者等の住民(以下、外国人)の割合が他の地域と比較して高いことがわかり、外国人労働者が一定数勤務する企業も点在していることがわかった。

そこで、学びから遠ざかっている人を意識的に対象とし、学習権保障の観点から公民館で学び・活動の場を創出することを目的に、多文化共生の取り組みを2021(令和３)年度から実施した。

2021年度は「多文化共生のまちづくり講座」と題し４回のボランティア養成講座を実施した。なおコロナ禍であったため、すべてオンライン開催となった。

2022(令和４)年度からは、外国人の生活支援（生活に必要な情報、会話上達）、仲間づくりや地域参画のきっかけづくりとして、ボランティアの協力を得ながら、公民館やその周辺での体験・交流プログラムを展開した。

2022(令和４)年度プログラム	
7/30 (土)	茶道体験
8/19 (金)	スポーツ交流
9/3 (土)	防災学習　避難所体験
10/2 (日)	書道体験
12/18 (日)	鉄砲巻きづくり
2/5 (日)	生春巻きづくり
3/26 (日)	お花見＆和菓子作り



茶道体験（2022年7月）

参加者からは好評だったものの、留学、就労などで多忙であること、車を持っていない方が多く来場が難しいことなどから、参加者が集まらず、2024(令和６)年度で一度休止とした。なお、それまでの取り組みを途絶えさせることにないよう、文化祭パンフレットの英語版を作成するなどの取り組みは継続している。

○地域づくり

2024(令和６)年度より、君津市での新たな地域づくりの仕組みとして、地域コミュニティの活性化と多様な住民自治(地域自治)の実現を目指すことを目的とした「きみつ地域づくり協議会」の制度が開始された。

周西地区では同年６月より設立準備会の取り組みが始まった。2025年３月の公運審答申を踏まえ、周西公民館では翌2025(令和７)年度より、「周西地区地域づくり協議会支援事業」と位置づけを明確化し伴走支援に取り

組んだ。

2024年６月の設立準備会発足から16回の準備会会議を経て、2025年９月28日に22名で地域団体「周西ファンBASE」が発足。同年10月４日に、周西地区での「地域づくり協議会」として市から認定を受けた。全体活動と複数のグループにわかれての活動が展開されており、公民館は地域づくり課と共に会議運営、情報発信、活動サポートなどの支援の他、共催での事業実施など行っている。



設立準備会キックオフミーティング（2024年6月）

6　サークル・団体の支援などに関する取組

「サークル団体研修会」は、長期（定期）的に公民館を利用しているサークル・団体を対象に、公民館の歴史や意義の理解促進や、公民館利用や予約の方法説明、サークル団体支援などを目的に毎年開催している。多くのサークル・団体が参加できるよう、日中と夜間に同じプログラムを２回実施することが通例となっている。また、公民館運営に関わる重要な事項についての説明・協議の場ともなっている。

また、サークルの日頃の活動の成果を発揮する機会として、夏休みなど長期休みの子どもたちの体験を受けいれる「大人と子どもの交流広場」は、2019（令和元）年度まで実施されたが、翌年度からはコロナ禍となったこともあり休止した。

この他、サークル運営についての相談対応や、「周西公民館利用者の会」の運営支援に日常的に取り組んでいる。

7　地域文化の振興・交流促進に関する取組

○周西公民館だより「はまっぺ」発行事業

開館当初から発行している周西公民館だよりは、地域情報紙としての役割を果たすこと、住民の地域への関心を高めることを目的とし、年間４回を基本として発行している。紙面の企画・取材・編集は、地域住民による編集委員体制で取り組んでいる。

2016（平成28）年度以降の特筆事項は表の通りである。

年度	特筆事項
2016	・新コーナー「いきいきママにインタビュー！」「街かど通信　いいね‼すさい」 ・たよりの愛称を募集し、投票の結果「はまっぺ」に決定
2017	・周西幼稚園の閉園特集を連載
2018	・紙面をB4判2面からA4判4面に変更 ・新コーナー「まちがいさがし」
2019	・新コーナー「すさい探訪」 ・地区内小学校児童への配布開始
2020	・コロナ感染予防のため変則的な編集体制
2021	・市制施行50周年にちなみ、新コーナー「すさい今昔」 ・小学校統合関連記事掲載
2022	・「ホテル千成」記事掲載
2023	・コロナ禍を経て再開する地域行事を多数紹介
2024	・紙面のカラー化
2025	・旧大和田小学校校舎の関連記事掲載
2026	・全市的な自治会配布方法の変更により、発行方法が変わる。あわせてＨＰに紙面掲載開始。

公民館だよりの発行は、公民館への来館者・参加者を直接対象とする他の事業とは異なり、読者・紙面登場者など「地域全体」を対象とした公民館事業となっている。

○周西公民館地区文化祭

公民館利用サークルはもちろんのこと、地域の多数の団体・機関などが参加し、文化活動や学習、文化、スポーツ活動の発表・交流

の場として開催している文化祭は、周西公民館事業の象徴的存在である。

それまでは利用者運営協議会の主催であったが、2015(平成27)年度から公民館が事務局的役割を担い、実行委員会が運営する体制で周西公民館地区文化祭を実施するようになった。

2016(平成28)年度からは開催テーマを「学んだ成果 見せる 聞かせる 文化祭 ～世代を超えて やりたいことが見つかるよ」とし、取り組みを重ねている。

年度	特筆事項
2016	・発表、ダンス、バザー模擬店、展示、体験の５分野での実施。
2017	・５分野実施 ・初めての特別企画として特別企画展「団地のある街で」を実施 ・２日目は台風接近により中止
2018	・５分野実施 ・特別企画:漁業資料館開館30周年「海苔付け体験」「30メートルの海苔巻き（鉄砲巻き）作り」
2019	・５分野実施 ・特別企画：歴史を体感！～周西「歴史」まるかじり～（クイズとシールラリー、勾玉づくり） ・小学生による開催ポスター作成や開会式司会
2020	・コロナ感染拡大防止対策のため文化祭は中止。代替事業「周西万博週間－SusaiExpoWeek－」を開催 ・発表（録画上映）、展示、模擬店の３分野開催。
2021	・３分野開催 ・特別企画:「秋風コンサート」(クラシック等の演奏、『周西公民館の歌』披露)
2022	・３年ぶりの対面開催 ・展示、発表、体験、販売の４分野 ・特別企画：「すさい・まちの変化100の記憶 スピンオフ」(土地区画整理組合解散記念碑巡りウォーキング、RKB毎日放送局制作の番組上映会)
2023	・４分野開催
	・特別企画：地域のお祭り紹介（コロナ禍からの再開）
2024	・４分野開催
2025	・４分野開催 ・特別企画:周西を「大好き」と「楽しい」でつなぐ地域づくり
2026	・第20回記念文化祭として11/３～８の６日間開催



漁業資料館開館30周年「海苔付け体験」(2018年10月)

８　その他

市内８公民館の連絡組織である君津市公民館連絡会の事業として、2009(平成21)年度から2018(平成30)年度まで「共に学ぶ市民の集い」を巡回開催していた。このうち、2017(平成29)年度は地域福祉と公民館をテーマに「支え合いの地域づくりと公民館の役割」と題して周西公民館を会場に実施された。

また、市内８公民館連携事業として「きみつを歩く」(2017)「きみつ新発見！」(2018・2019)「公民館で健康になろう」(2020)などのテーマが設定され、これに合わせて周西公民館では「はまっぺウォーク」(2017)や「きみつ新発見！周西まるかじり」(2018)を実施した。近年では、2025(令和７)年度に、生成ＡＩをテーマに、講演会と講習会を周西・清和・上総の連携事業として実施している。

この他、2018(平成30)年には、寄贈された図書を中心に、ギャラリーに「周西文庫」を設置し、読書推進と憩いの場づくりに取り組んでいる。2021(令和３)年12月には坂田青年館より「坂田文庫」の寄贈を受け蔵書の充実が図られた。